

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	教科書の難易度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。国語総合は現代文と古文、漢文の分量が適切である。
	地理歴史	教科書の内容・分量が本校生徒の実態に即しており、生徒が理解しやすい図表が掲載されているなど、適切な創意・工夫がされている。
	公民	教科書の内容・分量が本校生徒の実態に即しており、生徒が理解しやすい図表が掲載されているなど、適切な創意・工夫がされている。
	数学	教科書の難易度が本校生徒の実態に即しており、内容の理解が進みやすい。また、本文、表現等が正確であり、図表の大きさも使いやすい。
	理科	教科書の難易度が本校生徒の実態に即している。教科の目標を達成できるよう、生徒に理解しやすい図表が掲載されており、適切な創意・工夫がされている。
	保健体育	教科書の内容が科目の目標に適合しており、本校の実態に即している。また、分量も適量である。
	芸術	教科書の難易度が本校生徒の実態に合っている。印刷が鮮明で生徒にとって見やすい工夫がなされている。時代に合った教材が掲載されている。技法等の記述が詳しく、理解しやすい。
	外国語	教科書の内容・難易度ともに本校生徒の実態に即しており、適当である。また、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	家庭	教科書の難易度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目的に適合している。また、本文、表現等が正確で、挿絵等必要な内容が示してある。
	情報	農業情報処理で代替
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	教科書の難易度が本校生徒の実態に即し、内容が系統的であり、教科・科目の目標に適合している。
	工業	
	商業	
	水産	
	家庭	
	看護	
	情報	
	福祉	